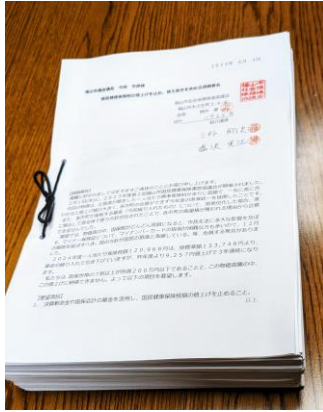


**福山市社保協が、国民健康保険税の3年連続の値上げを止め、
据え置きを求める請願署名を福山市議会議長に提出！**



願いを込めた、国民健康保険税据え置きを求める請願署名の束



6月4日(火)福山市社会保障推進協議会は、加盟団体で取り組んだ2024年度福山市国民健康保険税の値上げを止め、据え置きを求める請願署名2,063筆を、今岡芳徳市議会議長に提出しました。議長は所要のため事務局対応になりました。(写真右:左から、柳井優社保協会長、藤本順也福山民主商工会事務局長、三好剛史市議、佐藤美穂議事調査課長)

塩沢光江市議、花岡利明社保協事務局長が同席しました。

懇談の最後に、花岡事務局長から、「2月の国保運営協議会で高額な値上げの承認を受け、請願署名に取り組んできました。この5月の運営協議会で、決算剰余金を繰り入れ、1人当たり保険税額120,968円から904円引下げ、120,064円になりましたが、物価高騰の折、せめて値上げを止め据え置きをしてほしいと議長に伝えてください。」と要望しました。佐藤課長から、6月20日に委員会に付託することと、議長に主旨を伝えると回答がありました。2023年度決算では881,012千円の黒字が出ていますから、据え置きは出来ないことはありません。

※第2期広島県国民健康保険運営方針の概略(三好剛史市議がレクチャー)

対象期間:2024年度~2029年度(6年間)2026年度に中間評価で見直しをする。

目指す姿:県民である被保険者が、**負担能力(所得水準)に応じて保険料(税)を負担する**
公平な国民健康保険制度が、持続可能な制度として機能し、被保険者の医療受給と健康増進に寄与している状態。

被保険者数:522,831人(2021年度平均)うち262,816人(前期後期高齢者50.3%)

国保医療費:2,230億円(被保険者の減少で年々減っている)1人当たり426,495円

保険料水準の完全統一の実現:2030年年度~2035年度のいずれかの年度を目指す。

事業費納付金:市町が県に納付する金額

算定方式:所得割、均等割り、平等割

所得水準の反映:国の示す所得係数 β を適用(β とは、国が示す所得水準係数)

応能割と応益割の比率:県全体で $\beta:1$ (県内所得水準が全国平均所得水準である)

均等割りと平等割りの賦課割合:県全体で70:30

賦課限度額:政令基準どおり

標準的な収納率:市町ごとの実収納率3年平均

※補足:各市町の国保財政(黒字か赤字か)と収納率の到達が決め手になります。